

Hydraulic unit made in ITALY



現在販売されている油圧ユニットは主に台湾か中国製のもの、アメリカで製造されているものの2種類がある。

アメリカ製のはCrene Cams製の物が優秀だったが、会社整理の憂き目にあい今はS&S製として販売されているが、製造元は当時から変わっていない。

だが、この油圧ユニットはここ近年一気に品質が低下しており、それもいっこうに改善される様子がまったくない。

『ソリッドでもいい！』

否、やはり油圧ユニットは必要であり、旧車たる PAN や shovel ヘッドの静粛性には必要な部品だとケンチョッパーは考える。現在ケンチョッパーはイタリアでフェラーリの部品を製造しているXYZ S.r.l.との協力により現在この油圧ユニットを作成中。目標とする性能は純正と同等かそれ以上、ちょっとしたハイカムであればそのまま使える程度を目指している。完成のお知らせまで今しばらくお待ちを。

Engine OIL KENCHOPPER with FORTEC



FORTEC (フォルテック) は日本のオイルメーカーであり、古くは零戦のオイル開発の DNA を持ち、以降モータースポーツ、特にラリーで名を馳せた三菱の RALLIART INC のオイルを製造しているメーカーである。

Kenchopper はいいオイルとは何かを改めて考える。確かに価格が高く性能が高いオイルは無数にある。それこそ世界中に無数に、だ。だがしかし、それが普段使いのオイルとして適正かと考えると、頻繁にオイル交換を行うハーレーの普段使いオイルとしてはコストという点で適正とは思えない。

そこで、『普段から気軽に交換できる価格で性能の高い物』をフォルテックの技術力を借りて提案したい。

日常、公道で使用するにあたって全くの不足はなく、それでいて使いやすい流通と価格を目指して、現在 SAE50 と 20W-50 のオイルを開発している。

開発に当たっては現在流通しているハーレー用のオイルを徹底的に分析、そこから更にドライサンプでかつロングストロークというハーレーの特異性を十分に加味した適切なオイルを作成、現在は試作品のテスト中。詳細はケンチョッパーWEBにて公開。

Kenchopper
MEMPHIS METAL WORKS

